

2026年度 国際学部 第2回 グローバル教育講演会

授業科目「国際理解論」(担当:渡邊 暁子 先生)

LECTURE THEME

産婦人科医から見た 国際社会におけるジェンダー格差



藤田 由布 氏

産婦人科専門医

レディースクリニックサンタクルス心斎橋 院長

DATE

2026年10月21日(水)
10:50～12:20

PLACE

文教大学国際学部
東京あだちキャンパス 2203教室

対象: 国際学部生 他 希望者(事前申込不要)

問い合わせ: 国際学部国際交流・UNAI委員会 unai@bunkyo.ac.jp(生田)

■ 講師プロフィール



1999年 西アフリカ
ニジェールにて
(青年海外協力隊時代)

産婦人科専門医。大阪市内勤務。関西大学卒、青年海外協力隊でニジェールへ赴任、ギニアワーム寄生虫感染症対策に従事、猿を肩に乗せて馬で通勤、一夫多妻制のアフリカの文化で青春時代を過ごす。

ロンドン大学、アメリカ財団、JICA専門家を経て、32歳で欧州の医学部入学、EUと日本の医師免許取得。日本人で最もハウサ語を話せるが日本でハウサ語が役に立ったことはまだ一度もない。

妊婦健診、不妊治療、婦人科疾患、性感染症、子宮頸がん等、おしものトラブル全て診療する毎日。

“ アフリカでの国際保健活動から、大阪の産婦人科医療の現場へ。

青年海外協力隊員としてニジェールに赴任し、ギニアワーム撲滅活動に従事した藤田由布氏が語る、越境するキャリアとジェンダー

